

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | |
|--------------------------------|----|
| I. 理念に基づく運営 | 10 |
| 1. 理念の共有 | 1 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 4 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 1 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 1 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 0 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 5 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 1 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 0 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 3 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 7 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 5 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 23 |

| | |
|-------|--------------------|
| 事業所番号 | 1490900618 |
| 法人名 | 株式会社 ゆい |
| 事業所名 | グループホーム のぞみ |
| 訪問調査日 | 令和4年3月22日 |
| 評価確定日 | 令和4年5月16日 |
| 評価機関名 | 株式会社 R-CORPORATION |

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和 3 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | | |
|---------------|--|----------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 1490900618 | 事業の開始年月日 | 令和2年4月1日 | |
| | | 指定年月日 | | |
| 法人名 | 株式会社 ゆい | | | |
| 事業所名 | グループホームのぞみ | | | |
| 所在地 | (223-0062) 横浜市港北区日吉本町6-66-3 | | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 登録定員 | 名 | |
| | | 通い定員 | 名 | |
| | | 宿泊定員 | 名 | |
| | | 定員計 | 9名 | |
| | | ユニット数 | 1ユニット | |
| 自己評価作成日 | 令和4年3月15日 | 評価結果 市町村受理日 | 令和4年6月14日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、御一人御一人の性格や気持ちなどを理解し、健康面に気遣い、毎日が笑顔で楽しく過ごされ、一瞬一瞬に喜びを感じられるよう心掛けています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------------------|---------------|-----------|
| 評価機関名 | 株式会社 R-CORPORATION | | |
| 所在地 | 〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F | | |
| 訪問調査日 | 令和4年3月22日 | 評価機関 評価決定日 | 令和4年5月16日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は株式会社ゆいの経営です。同法人は横浜市港北区に本社を置き同区と青葉区に居宅介護支援、訪問看護、訪問介護、小規模多機能、グループホーム、障がい者介助、福祉用具のレンタル・販売、介護タクシーなどの事業を展開しています。令和4年度には新たに障がい者グループホームの開設を計画しています。グループホームのぞみは、東急東横線「綱島駅」からバスで約20分の「高田小学校入口」で下車、徒歩4分の閑静な住宅地に位置し1階が看護小規模多機能型居宅介護で2階に同事業所があります。

●事業所では法人の理念「その人らしく生きる～その一瞬を大切に～」を事業所の理念として、玄関やユニットの入口などに掲示し周知を図っています。理念の実践に向けて全社目標の「①出来る方法を考える②共に支え合う③常に笑顔でいる」を見える所に掲示して毎日の申し送りや、月例ミーティング時にも説明して共有し、毎日のケアに繋がっています。

●新型コロナウイルス感染禍、面会が困難な家族に向けて季節の行事や、レクリエーション活動など、日頃の様子や、体調の変化、受診状況など一人ひとりに手紙と写真を添付して送っています。今からはネット環境が整備され、リモートでの面会が出来るようになっていきます。外出の機会も少ないため、その人に合わせた歩行訓練や、毎日の体操などと栄養面にも注力し、体力をつけてADLの強化を目指しています。今後はコロナの収束に向けて食事や観光などの外出の行事を充実させたいと考えています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ～ 14 | 1 ～ 10 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ～ 22 | 11 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ～ 35 | 12 ～ 16 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ～ 55 | 17 ～ 23 |
| V アウトカム項目 | 56 ～ 68 | |

| | |
|-------|-------------|
| 事業所名 | グループホーム のぞみ |
| ユニット名 | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|----------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ✓ | 1, ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1, 毎日ある |
| | | ✓ | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまにある |
| | | | 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | ✓ | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ✓ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | ✓ | 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ✓ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ✓ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|----------------|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ✓ | 1, ほぼ全ての家族と |
| | | | 2, 家族の2/3くらいと |
| | | | 3, 家族の1/3くらいと |
| | | | 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1, ほぼ毎日のように |
| | | | 2, 数日に1回程度ある |
| | | | 3, たまに |
| | | ✓ | 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1, 大いに増えている |
| | | ✓ | 2, 少しずつ増えている |
| | | | 3, あまり増えていない |
| | | | 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ✓ | 1, ほぼ全ての職員が |
| | | | 2, 職員の2/3くらいが |
| | | | 3, 職員の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ✓ | 1, ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2, 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3, 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ✓ | 1, ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2, 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3, 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「その人らしく生きる～その一瞬を大切に～」常に玄関や入口、事務机に掲示し、職員はどのように自分らしく生きていくことができるかを常に念頭に入れ、利用者様が一瞬一瞬に喜びを感じられるよう心がけています。 | 法人の理念「その人らしく生きる～その一瞬を大切に～」を事業所の理念として玄関やユニットの入口などに掲示し周知を図っています。理念の実践に向けて全社目標「①出来る方法を考える②共に支え合う③常に笑顔でいる」を見える所に掲示して共有し、毎日のケアにつなげています。 | 今後の継続 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会自治会に加入しておりますが、コロナの影響のため、町内の行事には参加できておりません。回覧版は拝見しているため、コロナの影響が落ち着いたら積極的に参加する予定です。 | 町内会の自治会に加入し、回覧板を回していただいています。コロナ禍での開設のため、町内の行事には参加できていません。新しく入居された方は足腰が元気なので、今後は、散歩にお連れしたり、1階の看護小規模多機能の担当者と一緒に認知症理解の講座を予定して地域との交流を図る予定です。 | 今後の継続 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 開設前に地域の方々にお声掛けし、内覧会を開催しております。また、認知症の理解を深めるための講座も予定しておりますが、コロナの影響のため実施できておりません。大きな行事イベントの時は地域の方にお知らせするポスターを作成して、参加をお願いしたいと思っています。 | | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 民生委員・町内会・地域包括支援センター・協力医療医師（内科・歯科）・看護師・薬剤師・ケアマネ・家族代表者などに参加していただき、3ヵ月に1回リモート会議を開催しています。会議後は、報告、意見交換等を月例ミーティングで共有し、サービス向上に繋げています。 | 同法人日吉エリアのグループホームと小規模多機能と合同で年4回リモート会議を開催しています。各事業所より3ヶ月間の現状・行事・事故などの報告を行っています。議事録を作成して区役所への提出と、月例ミーティングで職員に報告して共有を図り、サービスの向上につなげています。 | 今後の継続 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 区役所地区担当職員と入居状況など、情報交換を行っており、それをケアサービスの改善に活かしています。 | 港北区からの情報は、メールでのやり取りが主となっています。コロナ禍のため感染予防に関する情報が多くあり、感染に関する在庫確認など定期的に連絡があります。PCRキットなどは神奈川県から定期的な配布があります。地域のグループホーム連絡会には、今後加入する予定です。 | 今後の継続 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束についての話し合いを3か月に1回行っています。また、状況に合わせて随時話し合い、スタッフ全員で情報を共有し対応しています。フロアの事務机には身体拘束についての資料を置いてあり、いつでも閲覧できるようにしています。 | 身体拘束に関する会議は、3ヶ月に1回開催しています。また、月例ミーティング時にも事例検討など、何が拘束に当たるのか話し合いを行い、理解を深め、拘束の無いケアにつなげています。フロアの事務所には、身体拘束についてのマニュアルなど資料を置き、いつでも閲覧できるようにしています。 | 今後の継続 |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 身体拘束・虐待についての自己チェックを実施し、全職員へ再認識の機会を設けた後にミーティングで共有し、防止に努めています。 | 身体拘束についての会議や、月例ミーティング時に虐待の防止についても話し合いを行っています。虐待の防止マニュアルを完備し、勉強会も行っています。年1回以上は、自己点検シートにて全職員がチェックをして再認識の機会を持ち、虐待防止に努めています。 | 今後の継続 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 仕組みについて社内研修でも議題に上げ、知識を共有しております。1F事務所にも権利擁護に関する資料を置いてあります。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に利用者様・ご家族と一緒に面談を行い、理解や納得をしていただいた上で、契約を結んでいます。また、常にご家族様と話しやすい場を心がけています。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 本来、面会ノートを作成してご家族に自由に意見を書いていただく予定でしたが、コロナの影響のため、できない状況です。管理者が電話や直接お目にかかってご意見を伺い活かしています。また、利用者様の近況を様々な行事の写真を添付したお手紙でお伝えしております。 | 新型コロナウイルス感染禍、家族に向けて季節の行事や、レクリエーション活動等、日頃の様子や、受診状況などは一人ひとりに手紙と写真を添付して送っています。体調の変化など何かあれば、管理者がその都度電話したり、来訪時には玄関先で、意見や、要望など聴き運営に反映させています。 | 今後の継続 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 日頃から管理者と職員がより良いコミュニケーションを取れるように心がけており、提案や意見交換が気軽にできるような雰囲気づくりをしています。困っていることの相談やアイデアの提案などもしてもらい、月例ミーティングに反映させています。 | 月例ミーティングでは、パート職員も含めての意見や提案を聴いています。日々のシフトに管理者が入り、現場でも積極的に意見、提案を聴き運営に反映させています。今後はユニットリーダーを任命し、リーダーを介することで管理者や代表者へ提案しづらいことでも発言出来るようにと考えています。 | 今後の継続 | |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の努力・実績・勤務状況を把握し、定期的に面談を行っています。代表者が職員の意見を聞き、向上心を持って働けるよう努めています。定期的にストレスチェックのアンケートを職員に提出してもらって、面談を行っています。 | 管理者は、個々の努力・実績・勤務状況を把握し、定期的に面談を行っています。本社の担当者がミーティングに参加して、職員の意見を聴き、何かあればその都度面談を行っています。年1回は、職員のストレスチェックのアンケートを実施して本社に提出しています。 | 今後の継続 | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月1回、社内で勉強会を実施していましたが、コロナの影響で現在は中止しています。代わりに、メディパスアカデミー介護で毎月介護職員向けオンライン研修を実施しています。また、外部の研修に参加した職員に発表の場を設けて、情報を共有しています。 | 例年は毎月1回、本社で勉強会を実施していましたが、コロナ禍で現在は中止しています。代わりに、メディパスアカデミー介護のオンライン研修を契約して、各自が研修計画に従い受講しています。外部研修を受講した際に、年3回までは本社で費用負担する制度があります。 | 今後の継続 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | グループホーム連絡協議会への参加や、外部研修へ参加する事で、同業者との交流につなげ、事業所のサービスの質の向上ができるよう取り組んでいます。 | | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用される前に、利用者様の情報を得よう、心がけています。ご家族・ケアマネから情報を収集し、また今までの環境などを考慮し、安心して安全に過ごしていただけるよう、配慮しております。何でも話しやすい環境作りに努めています。 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | まず第一に、ご家族が話しやすい環境作りを心がけています。利用者様とご家族の意見に耳を傾けながら、寄り添う関係作りに努めています。またご家族が必要とした場合は、他の専門職とも連携し、対応しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者様とご家族を交えて、利用者様やご家族等の必要としている支援を他のサービスを含めた対応について、検討しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | それぞれの個性を理解し、「どのようにすれば、自分らしく生きていくことができるか」を利用者様に寄り添い、傾聴して、思いやりをもって考え、職員各自が行動しています。安心して笑顔で過ごしていただけるような信頼関係を築けるよう努めています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族と協力して、利用者様の生活を支えていけるよう、努めています。コロナの影響で面会がなかなかできないので、ご家族には日頃の状況を手紙や電話で伝えて、情報を共有しています。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 現在の利用者様は、当施設の近隣に暮らされていた方が多く、会話の中で積極的に施設の周囲についての状況や昔の話などを使用いただいています。また、ご友人の面会も積極的に受け入れています。 | 今年度はコロナ禍のため家族や友人、知人の面会は困難な状態ですが、手紙や、誕生日カード、クリスマスカード、年賀状等が届くことがあります。携帯電話を持参の利用者も数人いて家族とよく話をしています。今月からは、ネット環境を整備しリモートでの面会が出来るように支援しています。 | 今後の継続 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員が利用者様の性格・気持ちなどを理解し、利用者様同士の間に入る事で、共同生活をして行く上で過剰になりすぎず、疎遠になりすぎないバランスの良い関係性が築けるようサポートしています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 現在、サービス利用を終了された利用者様はおりませんが、今後そのような事例の時にもご家族とのコミュニケーションを大切にして、いつでも相談・支援にお応えできるように努めています。 | | |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご家族や在宅時のケアマネジャーからこれまでの生活歴・既往症・趣味嗜好・暮らし方についての情報を聞き取っています。入居後には利用者様からもご要望を聞き取り、利用者様とご家族の要望や意向の把握に努めています。また、日々の観察からも様々なことに気づけるように心配りしています。 | 現在の利用者は、殆どが同法人の小規模多機能型居宅介護施設を利用された方で、当時のケアマネジャーや家族から、生活歴・既往症・趣味嗜好・暮らし方についての希望などの情報を聞き取っています。日頃の観察や気づきの情報は、申し送りノートに記録して職員間で共有しています。夜間帯など居室で1対1の会話でも意向の把握に努めています。 | 今後の継続 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 今までの暮らしの情報を基にアセスメントし、観察や傾聴から得られた情報を職員間で共有して、なじみの暮らし・環境などに応じた対応を心がけています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの様子を記録し、職員同士で申し送りなどを通して、現状把握の共有に努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月の全体会議（月例ミーティング）でケアカンファレンスを行い、意見を出し合い介護計画を立てています。また、ご家族の要望も聞いて、残存能力に見合った計画を作成しています。提携医とも情報を共有して、対応しています。 | 初回の介護計画は、入居時のアセスメントで得た情報を基に作成しています。3ヶ月様子を見て変化が無ければ継続しています。短期目標は6ヶ月、長期目標は1年とし介護計画の更新は1年に行っています。サービス内容のモニタリングは、月例ミーティング時のケアカンファレンスで3名ずつ行っています。家族には、変更内容など電話で説明した後に郵送し、確認印をいただいています。 | 今後の継続 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 業務日誌・経過記録バイタル表・排便食事睡眠状況の記録などを日々更新し、職員全体で把握できるようにしています。また、分かりやすい一覧表を作成して、情報共有に活用しています（介護情報など）。さらに共有ノート・受診ノートなども活用し、職員間の情報共有に努めています。 | | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 日頃、申し送りノート等を利用して臨機応変に対応できるよう心がけています。その時々により、管理者がご家族様に電話や直接お目にかかって、ご要望を伺いサービスに活かしています。常に、連絡を密にしております。 | | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町内会、回覧板などを活用し、地域活動に積極的に参加を予定しておりますが、コロナの影響のため現在は実践できずしております。 | | | |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 毎月（内科・歯科）、往診を受けています。また、必要に応じて、提携医と情報を共有し、医療管理支援を行っています。 | 入居時に協力医療機関について説明し、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただいています。現在は、全員が協力医療機関の月2回の訪問診療を受けています。歯科は必要に応じて往診を受けています。他科の受診は協力医療機関の紹介状を書いていただき、家族対応を基本として受診しています。夜間など緊急時は協力医療機関への連絡で対応しています。 | 今後の継続 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護職員にいつでも気軽に相談できます。『往診ノート』を活用し、情報を共有して、適切な指示が受けられるようになっていきます。また、週に1回、看護職員が利用者様と直接会話して健康チェックを行っています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時、医療機関と連絡を取り合っています。入院中も直接、様子を伺いにいきます。 | | |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居契約時に「重度化した場合、どのようにするか」「終末期のケアの指針」など、所定の書類に記入していただいています。担当医・看護師・家族・事業所責任者・ケアマネなどと話し合い、家族の意向のに沿った支援を行っています。また、必要に応じて再度ご家族の意向を確認しています。 | 入居時に「重度化した場合や、終末期のケアの指針」についての書類で説明し、家族の現在の気持ちを記入していただいています。重度化して来た段階で、担当医・看護師・家族・事業所責任者・ケアマネなどと再度話し合い、家族の意向に沿った支援を行っています。看取り介護の実施時には、必要に応じて法人の看護小規模多機能の看護師との契約で医療行為を受けることができます。 | 今後の継続 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 「利用者様の急変時や事故発生時にどのように対応するか」という緊急時の連絡マニュアルを作成しています。補助職員の確保に努めています。消防職員、担当医などに講師を依頼し、講習会（勉強会）を行っています。現在、コロナの影響で実施しておりません。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 毎年数回、地域住民や消防職員も参加していただく避難訓練を当施設でおこなっています。また緊急時の対応について話し合いをおこなっています。災害に備えて、備品・備蓄を用意する担当がおります。現在、コロナの影響で実施しておりません。 | 防災訓練を昨年は、1回避難訓練を実施しています。今年は、1階の看護小規模多機能と合同で、日中や夜間想定訓練を実施していく予定です。法人では防災マニュアルを作成しています。1階と2階合同で担当者を決め、災害に備えた備蓄品を倉庫で保管しています。 | 今後の継続 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|--|-------------------|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者様一人ひとりの人格や個性を尊重して、尊厳や自尊心を傷つけないよう、言葉遣いや対応に心配りをしております。また、スタッフ間でも話し合いをしています。 | 入職時には本社で理念を含めて接遇などの研修を実施しています。現在はコロナ禍のためeラーニングで研修を行っています。言葉遣いなどで気が付いた時は、スタッフ間で話し合ったり、ミーティングでも取り上げて話し合い、尊厳や自尊心に配慮したケアを行っています。 | 今後の継続 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者様の立場・状況を考慮して対応しています。日常生活の中で、利用者様が自分で選択できるように工夫し、誘導しています。 | / | | / |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日、その時の利用者様の様子を行動や会話からくみ取るよう努力し、柔軟な支援ができるようにしています。 | | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 定期的に訪問理美容を利用しています。また入浴後の着替えなど、可能な方についてはご自身で服を選んでいただいたり、職員と相談して決めています。 | | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事前にテーブル拭きや簡単な下ごしらえ等、できる範囲でお手伝いをしていただき、残存機能の維持に繋がっています。行事食や季節に合わせたメニューを用意し、食事を楽めるよう工夫しています。また、利用者様のその日の健康状態に合わせて、素材を工夫してより食べやすく提供しています。 | 食材は2ヶ所の業者に配食サービスを依頼しています。朝食は、パン好きな方が多くパン食にしています。行事食や季節に合わせたメニューの際は、業者を止め、買い物など別途に食材を用意して調理しています。簡単な下拵えや、テーブル拭きは利用者をお願いしています。正月には出前を取ったり、誕生日にはケーキでお祝いして楽しんでいます。 | 今後の継続 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量・水分量を毎回記録し把握しています。また、その時の利用者様の状態から、職員同士で話し合い、食事形態（キザミ・トロミ）を変えています。同時に水分も摂取しやすいように工夫しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行っています。利用者様が歯磨きをされた後、スタッフが仕上げを行いサポートしています。また、各利用者様の注意事項などを記入して、職員に分かりやすく伝えています。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄表を記入して、一人ひとりの排泄リズムを把握し、排泄のタイミングを図っています。また、できるだけトイレにて排泄できるよう工夫や誘導を行っています。 | 利用者全員の排泄を記録して、排泄リズムや排泄パターンを把握しています。昼夜ともにオムツの利用は安易にせず、それぞれのタイミングで声掛けや、トイレ誘導を行っています。夜間熟眠の場合などは、睡眠を優先して無理には起こさずベッド上のパット交換対応で支援しています。 | 今後の継続 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄状況を把握し、看護職員や医師に相談しています。また、水分摂取や食事を工夫したり、リハビリ体操などで排泄を促したりと、薬だけに頼らない対応も行っています。また、市販の乳酸菌飲料なども活用しています。 | | |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 一人ひとりの希望にあった入浴を心がけています。入浴前の体調面や利用者様の要望にも気をつけており、必要に応じて入浴を中止したり、別日に変更したりして調整をしています。季節感を感じてもらえるよう、入浴剤（ゆず・菖蒲など）も活用しています。 | 基本的には週2回午前中の中の入浴が出来るよう支援しています。要望があれば午後入浴や、入浴日の変更など臨機応変に対応しています。重度化した場合など浴槽での入浴が困難な場合は、シャワー浴と足浴で支援しています。希望により同姓介助にも対応しています。季節を感じるゆず湯や菖蒲湯、入浴剤も使用しながら気分を変えた入浴も楽しめるようにしています。 | 今後の継続 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 利用者様の生活リズムや体調に合わせて、休息していただいております。また、その時に応じて、室温・寝具の調整・衛生面に気をつけています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬のセットは異なる職員がダブルチェックし、記録を残します。また、服用時にも異なる職員がダブルチェックをしてから介助や確認を行い、服薬後に飲ませた職員がその記録を残し、空袋も確認しています。薬に関する変更は申し送り・業務日誌・往診ノートなどで、職員同士の情報共有をしています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の利用者様に合った手伝い（洗濯たみ・テーブル拭きなど）の声掛けをしています。レクリエーションとして季節に合わせた作品作りを毎月実施しています。また、職員のギター演奏に合わせて歌唱したりしています。 | | |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 外出については、持ち回りのレクリエーション委員が中心になり、計画・実行を予定しておりますが、現在、コロナの影響で実施できておりません。 | 現在コロナ禍のため外出は自粛していますが、社会情勢を考慮しながら食事や観光などの外出行事を充実させたいと考えています。また、1階の広いウッドデッキにはテーブルと椅子があり、外気浴や、地域との交流にも役立つ事を計画しています。 | 今後の継続 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 金庫にて管理者が貴重品管理をしています。職員同行で外出して買い物なども行いたいのですが、現在はコロナの影響で実施できずにおります。入金・出金については、利用者様ごとに現金出納帳を作成し、2ヶ月毎に会計記録と領収書を、ご家族様へ郵送しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | いつも連絡が取れるようにしています。 | | |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用部分の整理整頓をこまめに行っています。環境衛生委員を作り、点検などを行っています。フロア・廊下には毎月の行事写真やレクリエーションで作成した作品を飾っており、いつでも楽しかった時間を思い出していただけるように工夫しています。室温・照明なども配慮し、必要に応じて調整しています。 | リビングや廊下の壁面には、毎月の行事写真やレクリエーションで利用者と一緒で作成した作品を飾っています。夏にはリビングに面した窓の外にゴーヤを植え、緑のカーテンで快適に過ごさせています。リビングから続く相談コーナーでは、テーブルと椅子が置いてあり、喫茶室をイメージして、メニューから好きな飲み物を選んだり会話を楽しむ事ができます。 | 今後の継続 |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 廊下に休めるようにソファを設け、会話がしやすいよう配置しています。状況により、テーブル席の席替えも行っています。また、相談ルームへ移動して会話する方もいるため、お好きな飲み物を飲めるようにメニュー表を準備して、利用者様が環境を替えてリラックスして過ごせるよう工夫しています。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室ごとに職員の担当を充て、整理整頓を行っています。また、安全面も配慮しています。さらに居室には使い慣れた家具や馴染みの小物を持参していただき、安心して過ごせる環境作りを心がけています。また、起床直後の時間などを活用し、居室内の空気の入替えも行っています。 | 各居室にはエアコン、防炎カーテン、整理箒等を完備しています。居室の入口は和風式の引き戸になっていて壁もそれぞれに色を変えています。入居時に使い慣れたベッド、テレビ、化粧道具、ラジオなど持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫をしています。居室掃除の日を設けて、隅々までの掃除や室内の整理整頓を行っています。 | 今後の継続 |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口に名札を付け、利用者様ご自身が自室だと分かるようにしています。トイレには各利用者様のカゴを用意し、リハパン・パット類などを分かりやすく収納し、可能な方は自力で交換もされています。また、建物内で危険箇所がないか注意し、必要に応じて管理者に報告しています。 | | |

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホームのぞみ

作成日

令和4年3月22日

〔目標達成計画〕

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|--|---|------------|
| 1 | 5 | 身体拘束について、職員の認識や勉強不足な所があります。 | 身体拘束について職員全員が拘束について理解し、統一したケアを行う。 | 利用者様へ新たなケアを行う時に会議等で、その都度話し合いを設けたり、拘束についての勉強会を定期的に行っていきます。 | |
| 2 | 33 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援が職員同士で出来ていない所がありました。 | 利用者様の苦痛や不安感が無いようにケアの共有と支援を行う。 | 状態の変化が見られた時は即座に対応し、ドクターとナースの指示のもと統一したケアを行い、不安に思うことが無いように細目に対応して行く。 | |
| 3 | 16 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につける。また、地域との協力体制について、コロナ感染のため交流を持つことが出来なかった。 | 緊急時の対応について話し合いを行い、全員が理解し実践できるようにする。避難訓練の全員参加を目標とする。地域の防犯パトロール等に参加し、地域交流を通して地域の一員としての責任を担う。 | 緊急時の対応についての話し合いを共有し実践する。災害に備えて、備品・備蓄を用意し、避難訓練を全員参加で行う。地域の防犯パトロール等に参加して地域交流を深めていく。 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。